

2016年12月2日
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

Cisco IOS-XE ソフトウェアに関する脆弱性について

Cisco 社 の IOS XE ソフトウェアの IPv4 フラグメントパケット再組立てプロセスに脆弱性が存在する事が判明しました。

この脆弱性は、IPv4 パケットの再構築時に不正な内部データ構成が発生することによって発生します。

リモート攻撃者による IPv4 フラグメントパケットが送りつけられる事に起因して、対象機器のリロードが発生しサービス拒否 (DoS) 状態 となる可能性があります。

■脆弱性の詳細情報

<http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20160928-frag>

■対象製品

- Cisco 4000 Series Integrated Services Routers
- Cisco ASR 900 Series Aggregation Services Routers
- Cisco ASR 1000 Series ASR の RP2 又は RP3
- Cisco cBR-8 Converged Broadband Routers

上記、64-bit IOS XE 機器で、インターフェイスに IPv4 のアドレスを設定している場合に脆弱性の影響を受けます。

■対象ソフトウェアバージョン

対象バージョンのリストは公開されていないので、下記 Tool を使って使用の有無を確認してください。

Cisco IOS Software Checker

<http://tools.cisco.com/security/center/selectIOSVersion.x>

■ 対処方法

恒久対策として、修正ソフトウェアへのバージョンアップを行ってください。

■ 修正ソフトウェアの入手方法

以下のサイトから入手可能です（事前にアカウント登録必要）

<http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html>

お問い合わせは、弊社担当営業までお願いいたします。

以 上